

直心流柔術における『不動智神妙録』思想の受容過程  
How the concept of Fudochi-shinmyo-roku (The Unfettered Mind)  
was accepted into the Jikishin-school of jujutsu

中嶋哲也

早稲田大学スポーツ科学学術院

キーワード: 寺田満英、沢庵、直信流、起倒流、心法

抄 録

本稿は、直心流伝書『無明書』を中心に直心流における『不動智神妙録』の受容過程を考察するものである。従来の研究では、『不動智神妙録』の影響力を「不動智」の思想が変化せずに伝播していく様子に焦点を当てて検討されていた。しかし、そうした研究ではなぜ不動智の思想が各地に伝播し、いかなる影響力をもったのかという、『不動智神妙録』の影響力を具体的には解明できない。したがって本稿では「不動智」の思想を受容する側がいかなる観点から受容していったのかに焦点を当てることで、『不動智神妙録』の持つ影響と、『不動智神妙録』が受容された歴史的意味を考察した。

歴史的意味を考察した結果、以下のことが明らかとなった。本研究で対象とした直心流伝書『無明書』は直心流の心法を解説した作品である。『無明書』の作者である寺田満英は『不動智神妙録』の実戦を念頭においた心法論を柔術の修行論に位置づけて再解釈していった。直心流の流儀である「直心」や「不動体」などの内容も『不動智神妙録』を参照することで深められていった。こうしたことの歴史的背景として『無明書』が作成された 1674 年はまだ文治政治が本格化していない時代であった。しかし、17 世紀後半日本は平和な時代が続く中、合戦に向かう心性を身につけていない武士が増え始めた時期でもあった。『無明書』作成の背景にはそうした合戦を知らない武士をいかに教育するのかといった問題意識があったと思われる。

直心流における『不動智神妙録』の受容過程は、『不動智神妙録』の伝播が単にテキストの空間的移動に留まらず、ある歴史的背景の中で 1 つの流派の内容を深化させ、あるいは『不動智神妙録』自体もその意義を変化させながら伝承されていくことを示す好例であったといえよう。

スポーツ科学研究, 9, 206-233, 2012 年, 受付日: 2012 年 1 月 27 日, 受理日: 2012 年 8 月 22 日

連絡先: 中嶋哲也 〒202-0021 東京都西東京市東伏見 2-7-5

E-mail: raou@aoni.waseda.jp